

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
川俣町	川俣町	令和 3 年度～令和 7 年度	令和 3 年度～令和 7 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (令和 2年度)	目 標 (令和 7年度) A	実 績 (令和 7年度) B	実績 /目標
総人口		12, 526	11, 430	11, 053	—
公共下水道	污水衛生処理人口				%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	%	%	%	%
集落排水施設等	污水衛生処理人口				%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口	3, 103	3, 883	3, 470	47. 0%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	24. 7%	34. 0%	31. 3%	71. 7%
未処理人口	污水衛生未処理人口	9, 424	7, 547	7, 583	98. 0%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

実績が計画を下回った要因として、経済情勢の悪化により住宅改築費の個人負担が大きくなったことや、人口減少、少子高齢化により後継者がなく転換にいたらないこと、また、使用者にとって当面の生活に支障がなく転換にまでいたらないことなどが考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 12 年度まで

今後も広報誌やホームページ等での啓発により合併処理浄化槽への転換を推進する。また、浄化槽設置整備事業補助を継続して、未処置人口の解消を目指していくとともに、公共用水域の水質保全及び、生活環境の保全に努めていく。

(都道府県知事の所見)

改善策にもあるとおり、町のホームページ等で情報発信を行い、合併処理浄化槽への転換に向けた普及啓発を実施するなど、引き続き汚水処理未普及解消の促進が図られるよう努められたい。